

英語が弱かった生徒が伸びる時期があります。  
WAYには3つのクラスがあります。

- 1 英文法強化クラス (初級クラス)
- 2 IELTS クラス (中級クラス)
- 3 SAT クラス (上級クラス)

それぞれのクラスで生徒が伸びる時期がありません。

まず英文法強化クラスですが、このクラスでは英語の土台を作ります。

ほとんどの生徒は英文法を体系的に学んでいないため、感覚的に英語を話し、書いています。どのような英語が正しい表現かわからないため、不正確な英語で話したり、書いているために、あるレベルに行くとそこで英語が伸び悩みます。土台がしっかりしていないからです。

まず、英文法を学び、単語を強化していくと英語がわかるようになり、生徒の学習姿勢に＜力強さ＞が出てきます。これが第一段階で、英語が伸び悩んでいた生徒が伸びる時期です。

この英文法強化クラスでは、ノートの取り方、集中して学ぶ、わからない箇所は必ず質問をしてクリアーにするなど、学習の基本姿勢を徹底して教えていきます。

初級クラスと言っていますが、ケンブリッジ出版の文法書を使用していますので、これで一生文法を学ぶ必要はほとんどなくなります。

この土台の上で、IELTS クラスへ進みます。このクラスでの勉強方法は、次回改めて書きます。ともかく、まず、英文法を体系的にしっかりと学ぶ重要さは繰り返し強調しておきたいと思えます。

## 英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブロークな英語のまま放置されています。それは、まるで液化化した土地に建物を建てていることに似ています。WAYでは、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

## IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTS の教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTS クラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTS の読解を通して、TOEFL の点数を上げるために、TOEFL 無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

## SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFL や IELTS テストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年 IB スコアで 40 以上 (今年は 45 の生徒がいました) が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL100~110 点以上を目指しています。指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

## 日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用 (IB レベル) までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IB の日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成力を持った論文が書けるようになります。(このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。) 論理的な思考力なくして、IB で高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が必要不可欠だと私たちは考えています。